

# 平成27年度 学校評価実施報告書

学校名( 京都市立砂川小学校 )

## 1 平成27年度 重点評価項目

『自ら学び 自らを鍛え 絆を大切に作る 砂川の子』 1. 学ぶ力を育てる教育の推進(「時」:確かな学力) 2. たくましく生きる力を育む教育実践の推進(「絆」:豊かな心) 3. 健康で安全に楽しく学ぶ教育環境づくりの推進(「命」:健やかな体) 4. 教職員協働体制と企画実践力の発揮による意識・行動改革の実行

## 2

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価		
						評価日	平成27年10月 1日	評価日	平成27年10月20日	
						評価者・組織	職員会議	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員	
	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・ 各種指標	アンケート結果・ 各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学 校評議員による改 善に向けた支援策
1	確かな学力	・基礎基本の徹底と活用力の向上 ・言語活動の充実・コミュニケーション力の育成 ・学校図書館の活用・読書活動の充実	・一人1回の授業公開 ・計算タイムの充実・「学びの場」と市けの図書室の充実 ・各教科・外国語活動でのコミュニケーション能力の育成 ・「学習の場」としての図書室整備・50冊表彰・地域図書館の活用・朝の読書タイム	・家で宿題や家庭学習は出来ていますか。・ジョイントプログラムの結果 ・友だちと協力して学習ができていますか。・家庭学習時間 ・自分から進んで読書絵をしていますか。・家に帰ってからしたこと	5年生は、1ポイント上昇した。6年生は、昨年のポイントを維持できた。 ・あいさつは、地域の方へと広がっている。・家庭学習時間は平均60分 ・50冊、5000ページ表彰 ・家庭での読書23%	⇒	・家庭学習はしているが、時間や内容について、さらなる検討が必要である。・言葉遣いについては、時、場合を考えて使い分ける児童が増えてきた。 ・木曜日を「イングリッシュデー」にして、英語に親しむ児童が増えた。	・家庭学習を自らしていくように、方法を考える。 ・言語活動については引き続き、日常生活においてTPOを意識した話し方や各教科に於いての言語活動について、研究を深めていく。	⇒	・机上の学習だけでなく、考えが広がったり深まったりするよう児童の経験を増やすことも大切な。 ・本の種類を増やし、物語だけでなく科学や歴史等帆船を増やす等、幅広い読書を進めてほしい。
2	豊かな心	・豊かな体験活動 ・適切な児童理解・実態把握 ・異年齢集団活動の充実	・PTA行事の計画、実施 ・地域行事の計画、実施 ・土曜学習の計画、実施 ・生活アンケートの実施、分析・いじめ記名式アンケートの実施、分析 ・異年齢集団での児童会活動、学校行事の計画、実施	・PTAや地域行事に参加していますか。 ・帰ってからしたこと ・テレビやゲームの時間 ・友だちと仲良くしていますか ・年7回の児童会活動 ・全校遠足 ・秋の運動会	・PTA、地域行事の参加約50% ・土曜学習参加約20% ・友だちと協力できている約95%・テレビ視聴時間は、1時間が多かった 低:お兄さん、お姉さんが、教えてくれる。高:出来ることを増やしていこう。	⇒	・PTAや地域行事に参加している人数は増えている。 ・異年齢集団活動により、自己肯定感を高めている児童が増えている。	・家庭学習を自らしていくように、方法を考える。 ・言語活動については引き続き、日常生活においてTPOを意識した話し方や各教科に於いての言語活動について、研究を深めていく。	⇒	・年間通して地域も参加した行事が多々ある。学校、PTA、地域が協力できている。 ・各行事に参加する人数が、増えてきている。
3	健やかな体	・基本的生活習慣の育成 ・体力の向上	・生活がんばり週間実施 ・生活アンケートの実施、分析 ・体力テストの結果、分析・運動部活動の参加状況	・起床時刻、就寝時刻・睡眠時間・朝ごはん ・運動部の種類 ・運動部活動の参加状況	・起床時刻7時半85.5% ・就寝時刻11時以降14.3% ・朝ごはん食べる99.1% ・運動部9クラブ ・運動クラブ参加率98.8%	⇒	・高学年になると就寝時刻が遅くなってくる。 ・体を動かすことが好きな児童が多い。苦手意識はあっても自分にてできるスポーツを探して参加している。	・身体計測時に、養護教諭による保健指導を行っている。 ・学校便りや学級だよりも活用し、児童の実態に合わせて啓発を行っている。	⇒	・チャレンジカードや表彰形式は、児童のやる気を引き立たせている。 ・体を動かす楽しさ、喜びを実感できる取組を引き続き続けてほしい。
4	独自の取組	・小中一貫教育の推進 ・適切な児童理解・実態把握 ・情報発信の充実	・中学生の読み聞かせ ・吹奏楽のタペ ・オープンスクール ・スマイル[校長]面談 ・積極的なHPの更新	・小中合同研修会 ・小中合同主任会 ・学校は、楽しいですか。・自分のことが好きですか。 ・学校は、各おたよりやHPで学校の様子を伝えていきますか。	・小中合同研修会年3回 ・5校教務主任、生徒指導主任研修会月1回 ・学校が楽しい90.5% ・自分のことが好き55.2% ・発信している97.9% ・前期アクセス数43970回	⇒	・小中学校が隔年で授業を公開して、9年間の見通しを持てるようにしている。 ・担任外との面談を行うことにより、児童理解が深まっている。 ・HPは毎日更新し、アクセス数が増えている。	・教科授業だけでなく、人権学習や道徳などの授業公開をしていく。 ・HPは、学年の取組を中心に、普段の児童の様子を知らせるようにする。	⇒	・中学校へ行くときと小学校との違いに迷うことがあるので、事前に体験できることはいいことだ。 HPは、毎日たくさん更新されていて、学校や児童の様子がよくわかる。